

エネルギー持続性フォーラム 第5回公開シンポジウム
「エネルギー持続性への挑戦～低炭素型都市システムの構築へむけて～」

主催：東京大学サステナビリティ学連携研究機構（IR3S）

共催：昭和シェル石油株式会社

協力：三菱地所株式会社

人間活動が集中する都市に着目し、低炭素型の都市システムを構築していくことは、温室効果ガス削減のために非常に大きな意味を持つと考えられます。一方、都市システムは人間の生活スタイルに大きく関わるものであり、低炭素型都市システムを追求する取り組みは、温室効果ガス問題への対処であると共に、これからの成熟した豊かな都市を、我々自身のために、いかに作りあげていくかという前向きな取り組みに他なりません。

本シンポジウムでは、産官学それぞれの視点から、「低炭素型都市システム」についての事例と目指すべき将来像について講演を行います。更に、講演内容を踏まえたパネルディスカッションを行い、あるべき都市システムについて提言を行います。

日時：2010年2月23日（火）13:00～17:30

場所：丸ビルホール（東京都千代田区丸の内2-4-1丸ビル7階）

プログラム

13:00～13:05 開会挨拶

武内 和彦 東京大学大学院農学生命科学研究科 生圏システム学専攻 教授
東京大学サステナビリティ学連携研究機構（IR3S） 副機構長

13:05～13:10

福澤 武 三菱地所株式会社 相談役

13:10～13:50 基調講演

「低炭素都市の実現に向けて」

小澤 一郎 財団法人都市づくりパブリックデザインセンター 理事長
日本都市計画学会 低炭素社会実現特別委員長

13:50～14:20 講演

「持続可能な地域社会を目指して～低炭素な環境文化都市づくり～」

牧野 光朗 長野県飯田市長

14:20～14:50

「選ばれる都市、選ばれるまちを目指して～低炭素都市の実現に向けた取組み～」

長島 俊夫 三菱地所株式会社 代表取締役専務執行役員

14:50～15:20

「都市の姿と使い方～「なる」都市づくりから「する」都市づくりへ～」

家田 仁 東京大学大学院工学系研究科 社会基盤学専攻 教授

15:20～15:35 休憩

15:35～17:25 パネルディスカッション

モデレーター：大西 隆 東京大学大学院工学系研究科 都市工学専攻 教授

パネリスト：講演者ならびに 牧 葉子（川崎市環境局地球環境推進室長）

17:25～17:30 閉会挨拶

伊藤 智明 昭和シェル石油株式会社 執行役員